



同朋高校農園

廣讚寺境内に同朋高校の高校生たちが農園を作りました。昨年11月から同朋高校の先生も一緒にになり、とてもにぎやかに畑作りをしていましたが何とか完成です。

ごぼうを作るのが目標ということで頑張っています  
が出来栄えのほうはいかに。

収穫ができましたら本堂にお供えをし、お齋の材料  
になればと願っております。

第95号

(発行所)

真宗大谷派

松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30

TEL.(052)411-5301

FAX (052)411-5341

携帯 090-1568-4623

(E-mail)

matsuoka@kosanji.or.jp



## 年賀状

正月が終わり一カ月くらいになりますが、正月の恒例といえは年賀状があります。昔は一通一通、手書きで版画やハンコを使いながら手作りでした。それはそれは大変でした。『プリントごっこ』というものが発売されすごく楽になったと思えました。それから、写真屋さんで作れる写真入りの年賀状も増えてきました。そんな頃はまだまだ一般家庭は手書きで宛名を書いていました。印刷で書かれた年賀状は会社やお店からの年賀状というイメージでした。

中学生時代の年賀状がタンスのなかから出てきました。同級生からの年賀状で、みんな手書きでした。水星の色ペンや色鉛筆、筆で描いたものなど、いわゆる中学生らしい年賀状です。干支の絵が描いてあったり、ボールペンで「あけましておめでとう」とだけ書いて

ある年賀状もありました。30年ほどの年月はたちますが、見ていて楽しいです。

私も含めて、現代人は効率だけを考えすぎたのかもかもしれません。年賀状が書くのが大変ということで印刷に変わりました。宛名まで印刷に変わり楽になったかと思うと、全国的に年賀状の数が減っているとのことです。楽になったから増えるのではなく減っているのです。

理由は年賀状よりも楽な連絡手段ができたからです。平成の世になってからポケベルから始まり、携帯電話、そしてスマートフォン。文字で伝えることが激減しました。

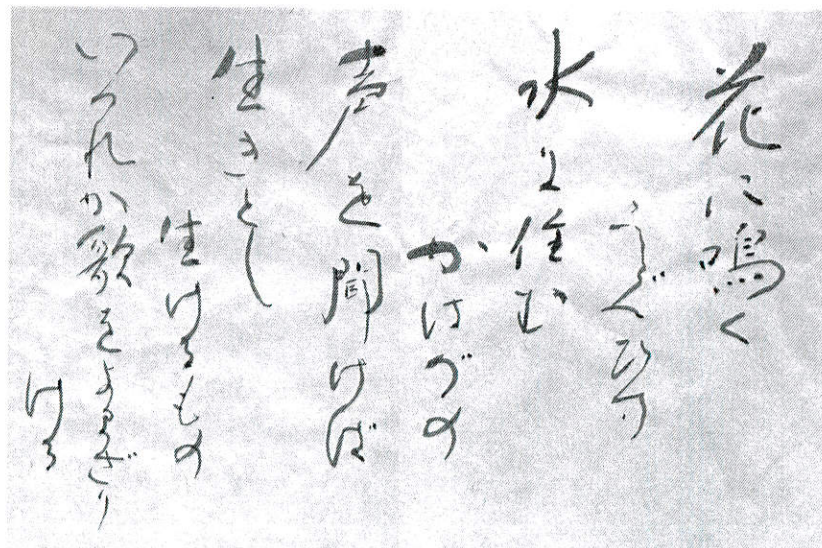
先日、右手の中指にケガをしたのですが、箸を使うときに痛くて使いづらかったのです。そしていつの間にか指のケガは治ったのですが、そのケガの間（約二日間）、一度もペンを持たなかったなあと気付いたので



す。ペンを持って文章を書く機会が減っているのです。そんな世の中になり、年賀状は今後減っていくと思います。加えて、今の世の中、簡単に住所も聞くことも個人情報ということで難しいらしいです。最近、学校では同級生同士の住所もわからないとか。これでは年賀状も出せません。確かに最近ではインターネットで住所を打ち込むと、その住所にある家の画像が見えるのです。これって便利なのでしょうか。

年賀状を書くことが楽になりましたが、年賀状自体が衰退している状況は、今の日本、日本人そのものに当てはまると思います。

便利で幸せな生活を求めて生きてきたが、便利になったところで幸せにはなれない。むしろ不便な昔の方がよかったと思われる方も少なくないと思います。しかしもう逆戻りはできませんが。



(現代語訳)

花に鳴く鶯、水に住む蛙の声を聞くと、あらゆる生きているものは、いったいどれが歌を読まないでいるか

「花に鳴く鶯、  
水に住む蛙  
(かはづ)の声  
を聞けば、生  
きとし生ける  
もの、いづれ  
か、歌を詠ま  
ざりける」  
(古今和歌集)

**二月行事予定**

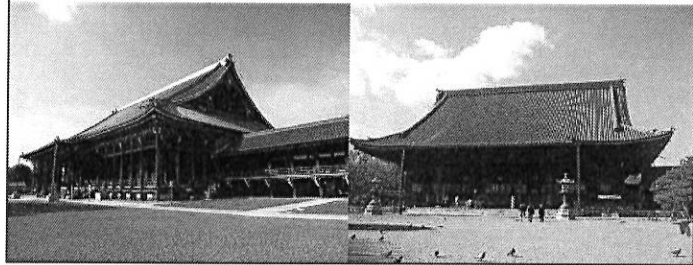
- 二月十三日(土) 七時半 同朋委員会・例会  
(役員は七時)
- 十九日(金) 二時～四時 学習会
- 二十八日(日) 十時 二十八日講・女人講

**同朋会日帰り団体参拝**

**4月17日(日)**

**8時 JA 稲葉地出発**  
**(参加費) 7,500円**

東西本願寺・興正寺・仏光寺  
真宗四本山参拝旅行



**三月行事予定**

- 三月十二日(土) 七時 同朋委員会・総会  
(役員は六時半)
  - 十九日(土) 二時～四時 学習会
- 〔春季彼岸永代経・蓮如講 執行〕**
- 二十日(祝) 十時 おつとめ  
おとき 説教 前田健雄師  
一時 おつとめ  
三時 帰敬式
  - 二十一日(月) 三時 おつとめ・法話
  - 二十二日(火) 三時 おつとめ・法話
  - 二十三日(水) 十時 女人講・報恩講  
おつとめ・住職法話  
おとき
  - 二十八日(月) 十時 二十八日講・総会  
おつとめ・住職法話  
おとき